2018年度中間期 会社説明会

2018年11月27日

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

取締役社長　　庵　栄伸
取締役副社長　笹原　晶博

目次

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・はじめに（プロフィール）	・・・・・ 1	・業績予想	・・・・・ 23
【Ⅰ．2018年度中間期決算概要】		**【Ⅱ．経営戦略】**	
・損益概要	・・・・・ 3	・外部環境・金融規制環境の変化	・・・・・ 24
・資金利益	・・・・・ 9	・中期経営計画	・・・・・ 25
・円貨預貸金利回り	・・・・・ 10	・営業力の強化	・・・・・ 27
・預金・譲渡性預金	・・・・・ 11	・経営の効率化	・・・・・ 31
・貸出金	・・・・・ 12	・経営基盤の強靭化	・・・・・ 33
・預金・貸出金見通し	・・・・・ 15	・ESGへの取り組み	・・・・・ 34
・有価証券	・・・・・ 16		
・役務取引等利益	・・・・・ 18		
・経費	・・・・・ 19		
・与信費用	・・・・・ 20		
・金融再生法開示債権	・・・・・ 21		
・自己資本	・・・・・ 22	**【別冊】参考資料**	



ほくほくフィナンシャルグループは、持続的な成長と中長期的な企業価値の創出を達成するため、ESG（環境、社会、ガバナンス）の課題に積極的に対応し、その取組を開示していきます。また、国連が持続可能な発展のため2030年までに達成すべき目標として採択したSDGs（※）についても、当社グループの取組項目を開示していきます。開示にあたっては、国連が公開しているロゴを使用し、SDGsの17目標に該当する項目を表示します。（ロゴは国際連合広報センターWebサイトより引用）

※SDGs…Sustainable Development Goals　2015年国連持続可能な開発サミットにおいて採択

はじめに

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長　庵　栄伸
（北陸銀行　頭取）

取締役副社長　笹原　晶博
（北海道銀行　頭取）

経営理念

地域共栄　：　社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
公正堅実　：　公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
進取創造　：　創造と革新を追及し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

プロフィール （２０１８年９月末現在）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

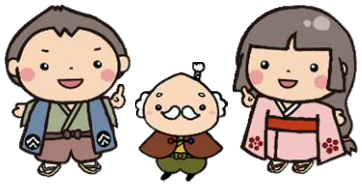
設立　　：2003年
本店所在地　：富山市
資本金　　：708億円
自己資本比率：9.78%
格付　　：A（R&I）



北陸銀行



設立：1943年
（創業1877年）
本店所在地：富山市
店舗数　　：国内187(支店145・出張所42)
　　海外6
従業員数　：2,806人
（在籍ベース）
資本金　　：1,404億円
自己資本比率：9.21%
格付　　：A（R&I）・A-（S&P）



北海道銀行



設立：1951年
本店所在地：札幌市
店舗数　　：国内142(本支店136、出張所6)
　　海外3
従業員数　：2,423人
（在籍ベース）
資本金　　：935億円
自己資本比率：9.44%
格付　　：A（R&I）・A（JCR）



Ⅰ．　2018年度中間期決算概要

損益概要（２行合算）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

マイナス金利環境の継続に伴う貸出金利息の減少により資金利益は引き続き減少したものの、経費および与信費用が減少したことにより、2行合算の中間純利益は前中間期比30億円増加しました。

（億円）

【ほくほくFG連結】	18/9期 期初予想	18/9期 実績	18/9期 17/9期比増減	18/9期 期初予想比	17/9期
経常利益	160	194	14	34	180
親会社株主に帰属する中間純利益	100	139	28	39	111

【２行合算】	18/9期				17/9期
コア業務粗利益	640	640	△ 9	0	650
資金利益		552	△ 17		569
うち貸出金利息		435	△ 15		450
うち有価証券利息		135	△ 6		141
役務取引等利益		83	2		81
特定取引利益		0	△ 0		0
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		4	4		△ 0
経費（△）(臨時処理分を除く)	450	437	△ 7	△ 12	445
コア業務純益	190	203	△ 2	13	205
国債等債券損益		△ 9	14		△ 24
実質業務純益(※)		193	12		180
一般貸倒引当金繰入（△）		△ 0	△ 11		10
業務純益		194	23		170
臨時損益		12	△ 8		20
うち不良債権処理額（△）		6	△ 7		13
うち株式等損益		21	△ 16		37
経常利益	170	206	15	36	191
特別損益		△ 7	4		△ 12
法人税等（△）		42	△ 10		53
中間純利益	115	155	30	40	125
(参考)与信費用（△）	25	5	△ 18	△ 19	23

※実質業務純益…「業務純益（一般貸倒引当金繰入前）」と同義

決算のポイント

資金利益

利回り低下に伴う貸出金利息の減少等により前中間期比17億円減少。

役務取引等利益

保険販売手数料の増加等により2億円増加。

経費

業務効率化への取り組みを通じた経費削減等により7億円の減少。

有価証券損益

株式等損益は16億円減少した一方、国債等債券損益については14億円改善。

与信費用

貸倒引当金繰入の減少を主因とし18億円減少。

中間純利益（2行合算）

経費および与信費用が減少したことにより、前中間期を30億円上回る155億円。

損益概要（北陸銀行）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（億円）

【北陸銀行】	18/9期 期初予想	18/9期 実績	18/9期 17/9期比増減	18/9期 期初予想比	17/9期
コア業務粗利益	350	350	△ 3	0	353
資金利益		296	△ 8		304
うち貸出金利息		224	△ 9		233
うち有価証券利息		86	△ 4		90
役務取引等利益		49	4		44
うち役務取引等収益		86	6		80
うち役務取引等費用（△）		36	1		35
特定取引利益		0	△ 0		0
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		4	△ 0		4
経費（△）（臨時処理分を除く）	245	235	△ 2	△ 9	238
コア業務純益	105	114	△ 0	9	115
国債等債券損益		△ 3	11		△ 14
実質業務純益(※)		110	10		100
一般貸倒引当金繰入（△）		－	△ 9		9
臨時損益		15	△ 2		18
うち不良債権処理額（△）		△ 0	△ 7		7
うち株式等損益		13	△ 10		23
経常利益	100	126	17	26	108
特別損益		△ 6	3		△ 10
法人税等（△）		27	△ 4		32
中間純利益	65	92	26	27	65
(参考)与信費用（△）	15	△ 0	△ 17	△ 15	17

※実質業務純益…「業務純益（一般貸倒引当金繰入前）」と同義

決算のポイント

資金利益

利回り低下による貸出金利息の減少を主因として前中間期比8億円減少の296億円。

役務取引等利益

保険販売手数料等の増加を主因として4億円増加の49億円。

コア業務純益

資金利益の減少を役務取引等利益の増加および経費の減少でカバーし、期初予想を上回る実績。

与信費用

一般貸倒引当金が8億円の戻入となり不良債権処理損失額7億円を上回ったため、前中間期比17億円減少。

中間純利益

前中間期比26億円の増益となり、期初予想を27億円上回る実績。

損益概要（北海道銀行）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（億円）

【北海道銀行】	18/9期 期初予想	18/9期 実績	18/9期 17/9期比増減	18/9期 期初予想比	17/9期
コア業務粗利益	290	290	△ 6	0	296
資金利益		256	△ 9		265
うち貸出金利息		211	△ 5		217
うち有価証券利息		49	△ 1		50
役務取引等利益		33	△ 2		36
うち役務取引等収益		84	1		83
うち役務取引等費用（△）		50	3		46
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		0	5		△ 5
経費（△）(臨時処理分を除く)	205	201	△ 5	△ 3	206
コア業務純益	85	88	△ 1	3	90
国債等債券損益		△ 6	3		△ 9
実質業務純益(※)		82	1		80
一般貸倒引当金繰入（△）		△ 0	△ 1		0
臨時損益		△ 3	△ 5		2
うち不良債権処理額（△）		6	0		6
うち株式等損益		8	△ 5		14
経常利益	70	80	△ 2	10	82
特別損益		△ 0	1		△ 1
法人税等（△）		15	△ 5		21
中間純利益	50	63	4	13	59
(参考)与信費用（△）	10	6	△ 0	△ 3	6

※実質業務純益…「業務純益（一般貸倒引当金繰入前）」と同義

決算のポイント

資金利益

利回り低下による貸出金利息の減少を主因として前中間期比9億円減少。

その他業務利益

外貨調達コストの減少により、5億円増加し益に転換。

経　費

業務効率化への取り組みを通じた経費削減等により、5億円減少。

コア業務純益

資金利益の減少を経費削減等でカバーし期初予想を上回る実績を確保。

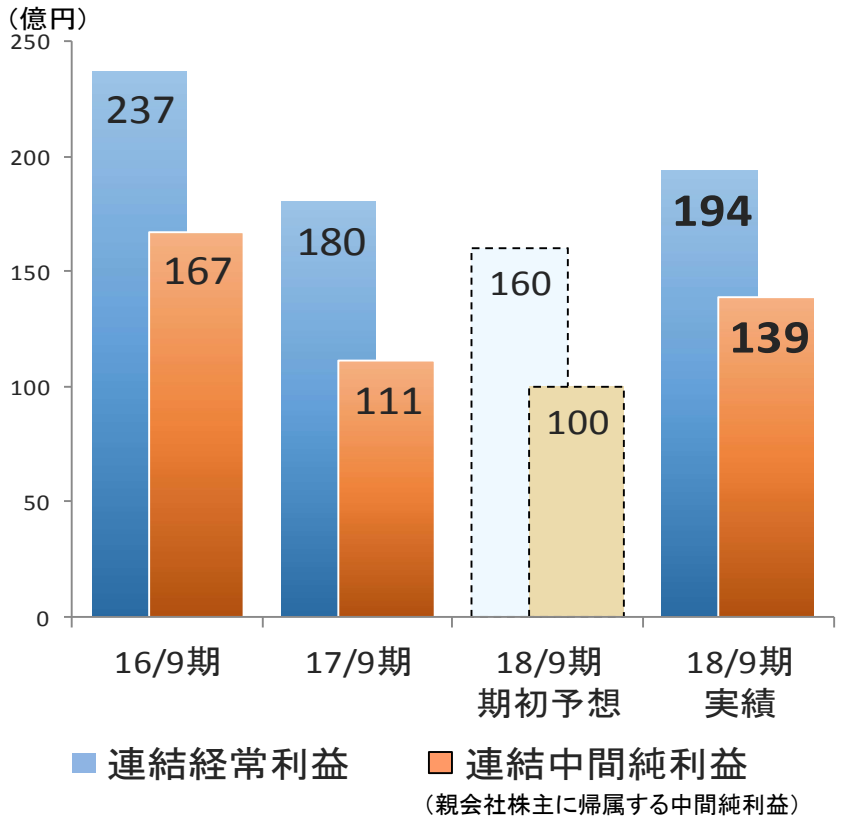
中間純利益

前中間期比4億円の増益となり、期初予想を13億円上回る実績。

損益概要（時系列推移）

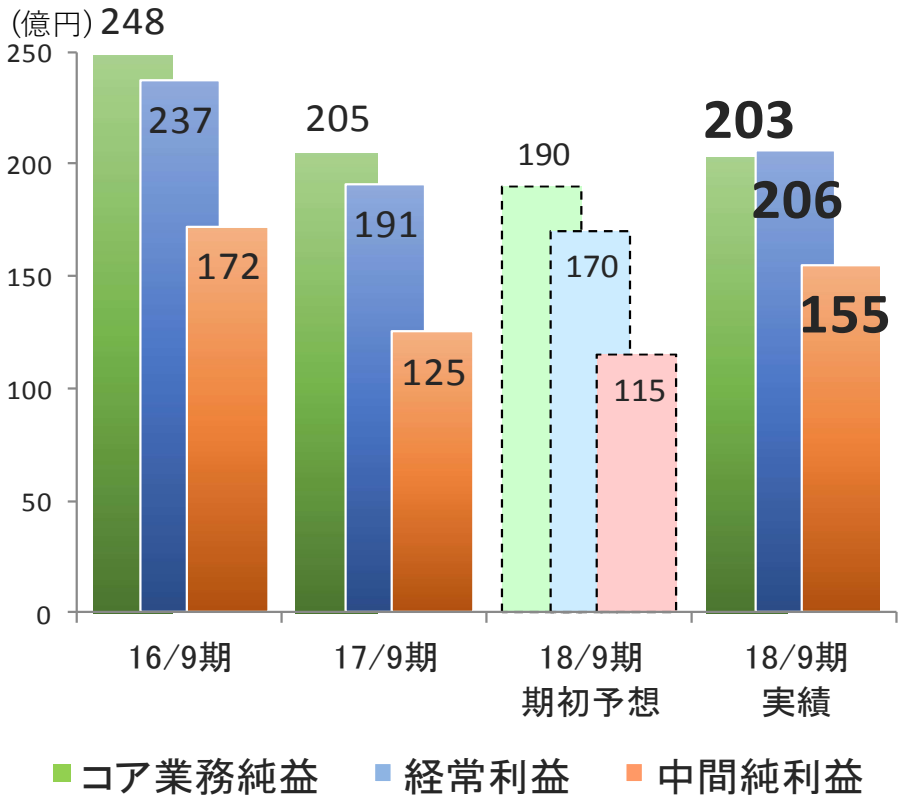
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

損益＜ほくほくFG連結＞



連結経常利益　194億円（17/9期比＋14億円）
連結中間純利益　139億円（17/9期比＋28億円）

損益＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞

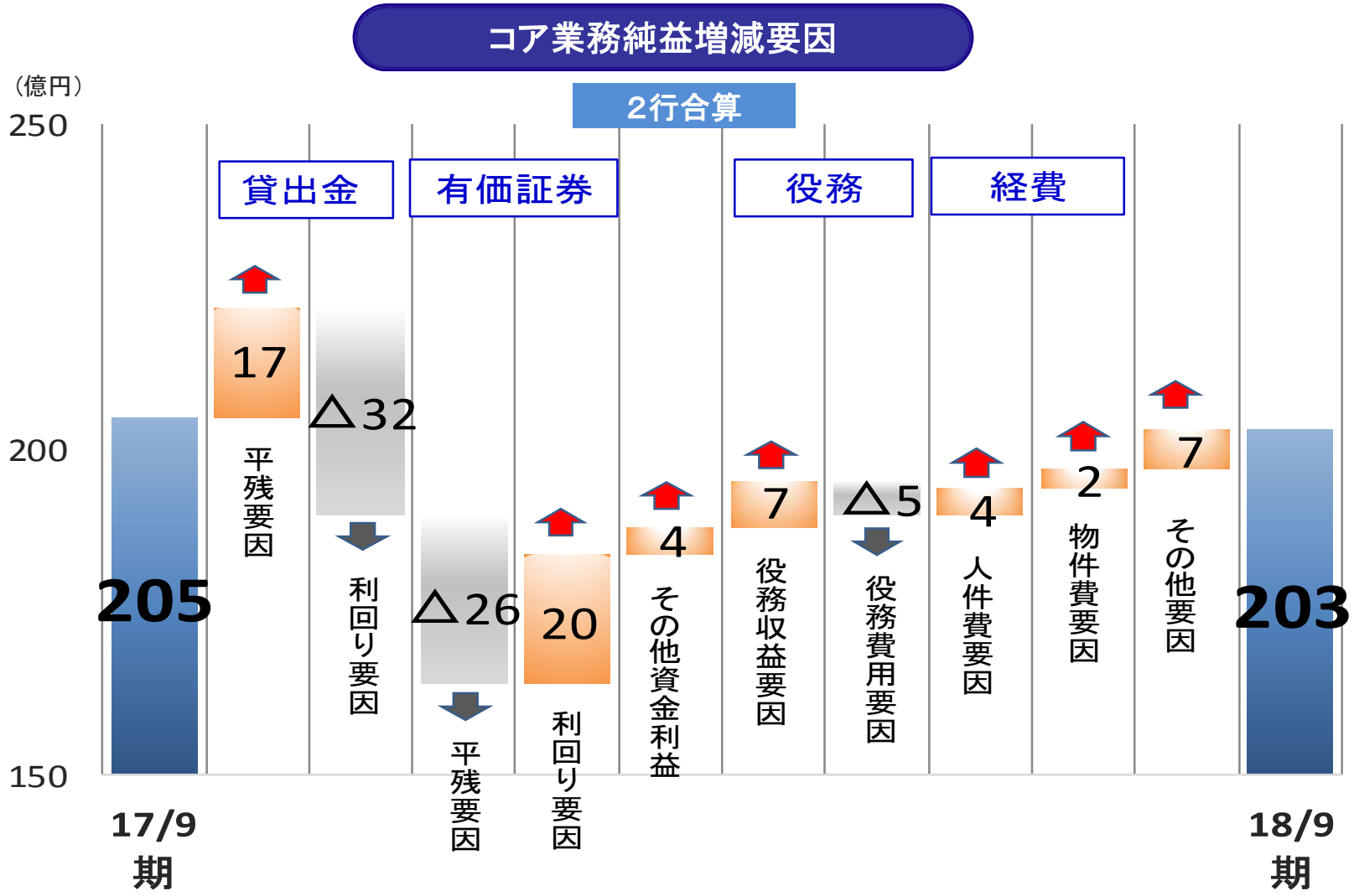


コア業務純益　203億円（17/9期比△ 2億円）
経常利益　206億円（17/9期比＋15億円）
中間純利益　155億円（17/9期比＋30億円）

損益概要（コア業務純益増減要因）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

貸出金利回りの低下を主因とする資金利益の減少を、経費削減等でカバーし、コア業務純益は、前中間期比2億円減少の203億円となりました



損益概要（中間純利益増減要因）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

株式等損益は減少したものの、国債等債券損益の改善および与信費用の減少等により、中間純利益は、前中間期比30億円増加の155億円となりました。

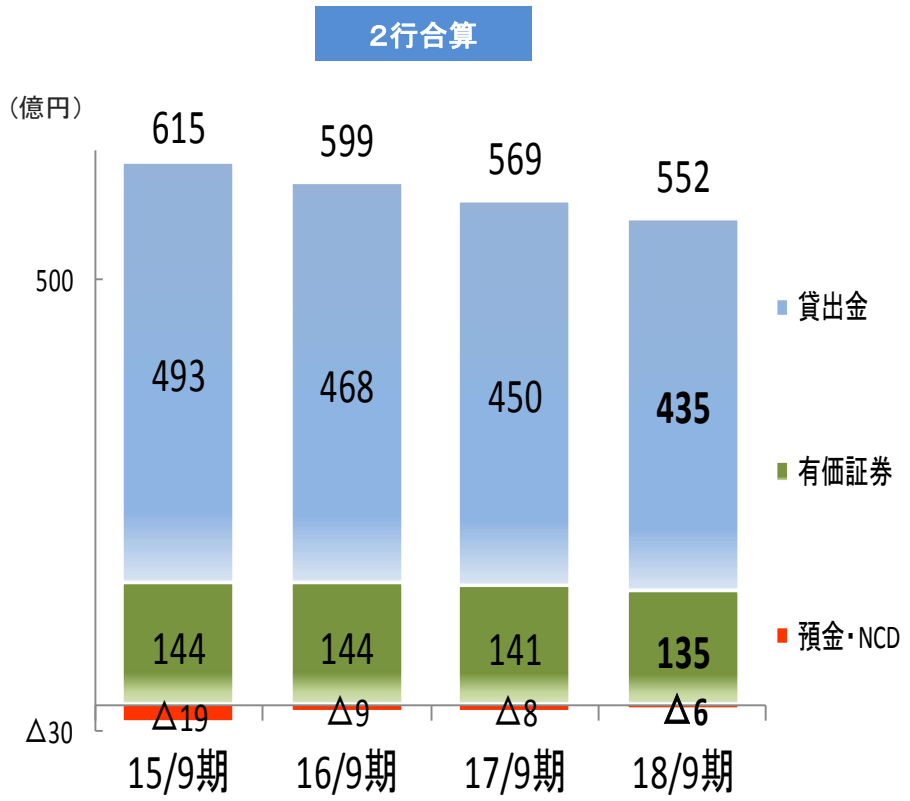


資金利益

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

貸出金利息は、前中間期比15億円減少し、435億円の実績。有価証券は、外債を中心に残高を減少させたことにより利息は6億円減少も、利回りは0.21ポイント改善。

資 金 利 益



（億円）

【2行合算】	18/9期	増減額	17/9期
資金利益	552	△ 17	569
貸出金利息	435	△ 15	450
有価証券利息	135	△ 6	141
預金・NCD利息（△）	6	△ 1	8

〈利息増減要因〉

（億円）

【2行合算】	平残要因	利回要因
貸出金	17	△ 32
有価証券	△ 26	20
預金・NCD（△）	0	△ 1

（億円）

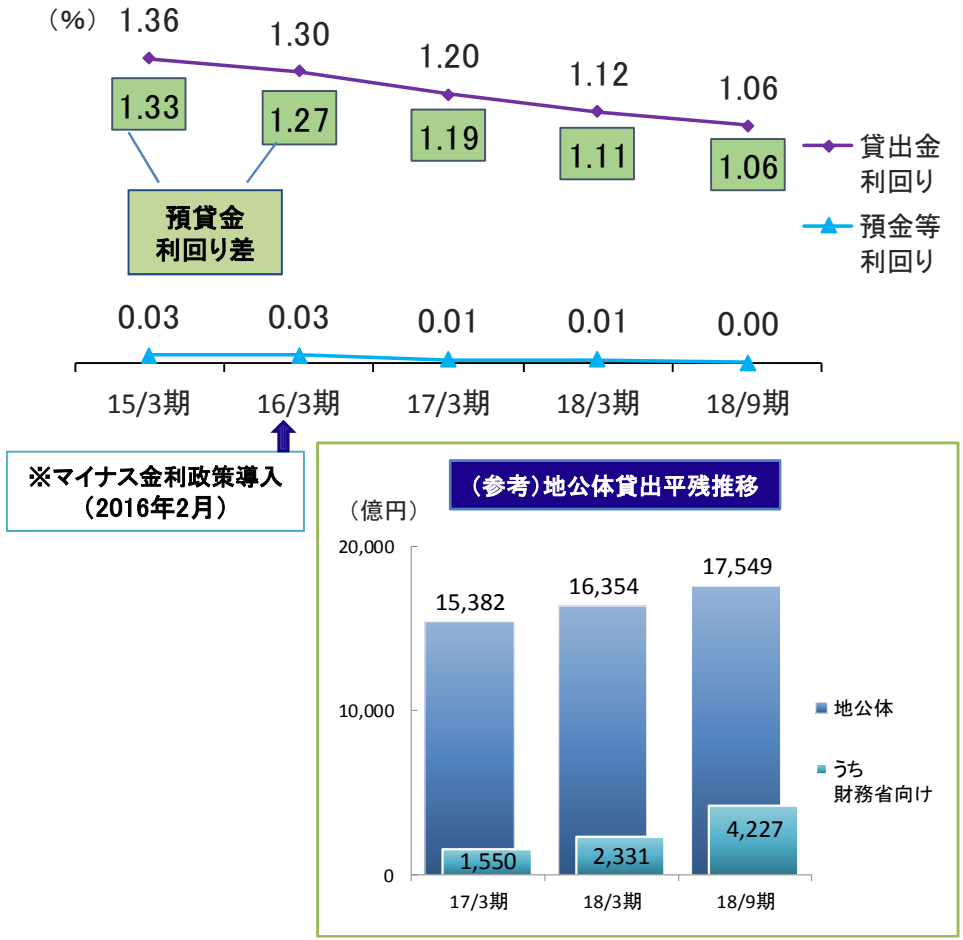
【2行合算】		18/9期	増減額	17/9期
貸出金	平均残高	81,463	3,107	78,356
	利回り	1.06%	△0.08%	1.14%
有価証券	平均残高	18,266	△ 3,810	22,077
	利回り	1.48%	0.21%	1.27%
預金・NCD	平均残高	112,724	3,222	109,501
	利回り	0.01%	0.00%	0.01%

円貨預貸金利回り（内部管理ベース）

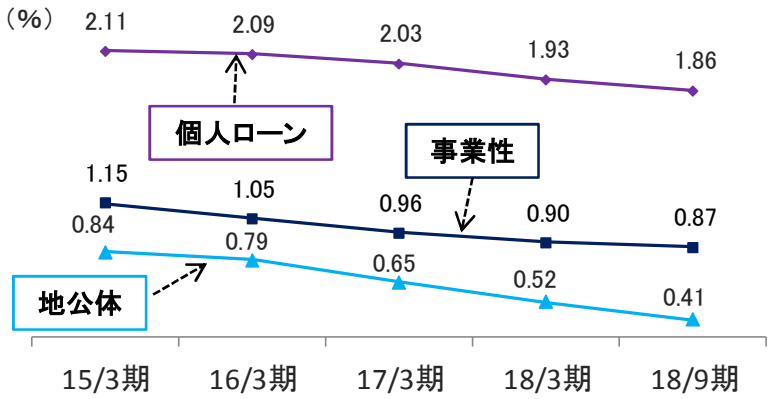
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

貸出金利回りは、マイナス金利政策導入以降の利回り低下幅は縮小しつつあるものの、前期比0.06ポイント低下の1.06%となりました。

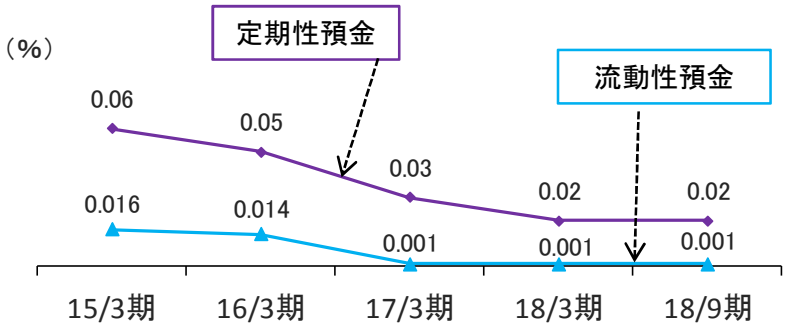
円貨預貸金利回り差



円貨貸出金利回り



円貨預金利回り

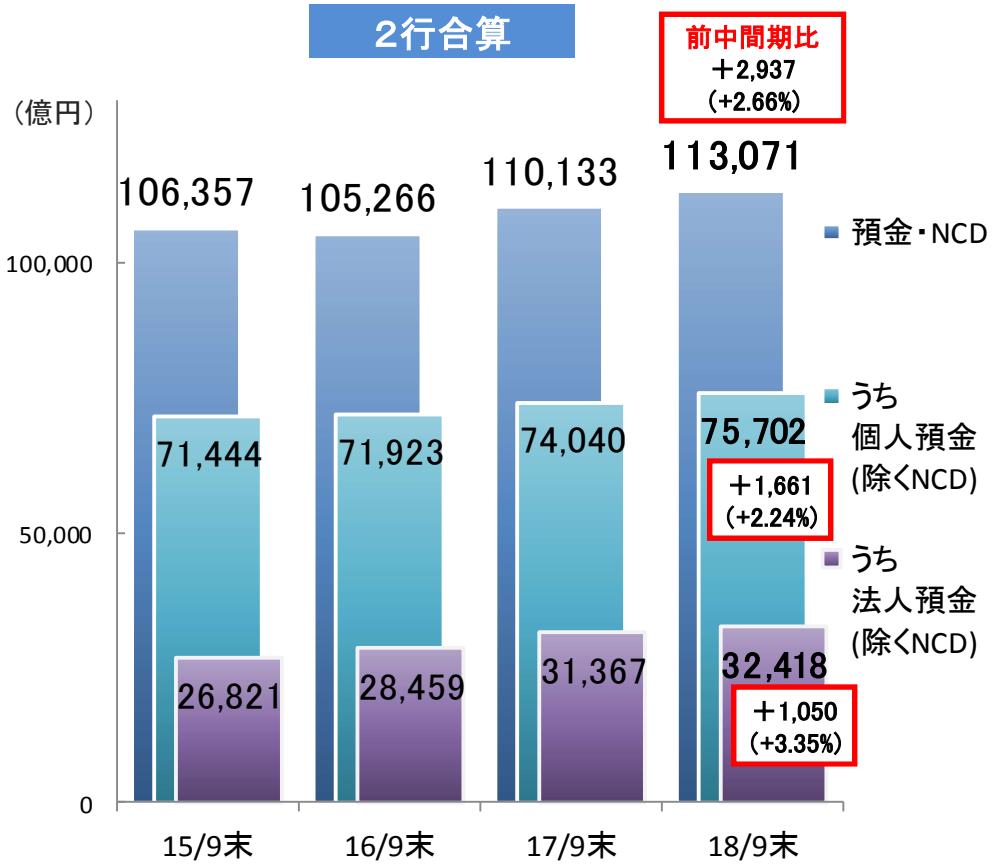


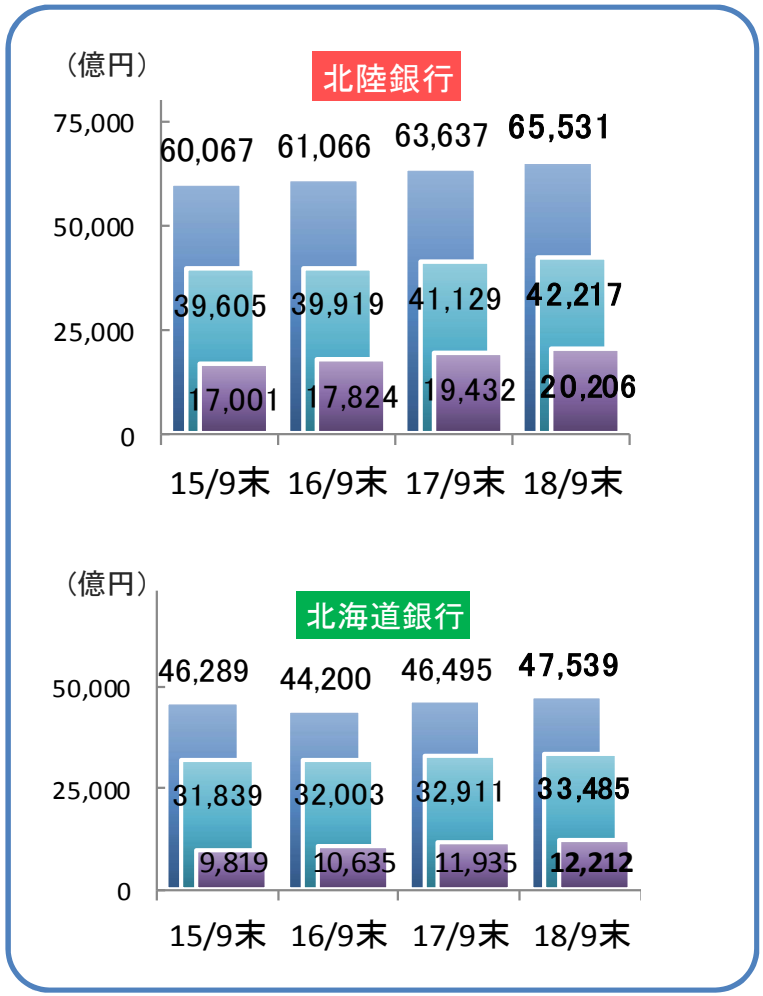
預金・譲渡性預金

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

預金残高は、北陸銀行・北海道銀行ともに増加し、前中間期比2,937億円増加の11兆3,071億円となりました。

預 金 ・ N C D 残 高





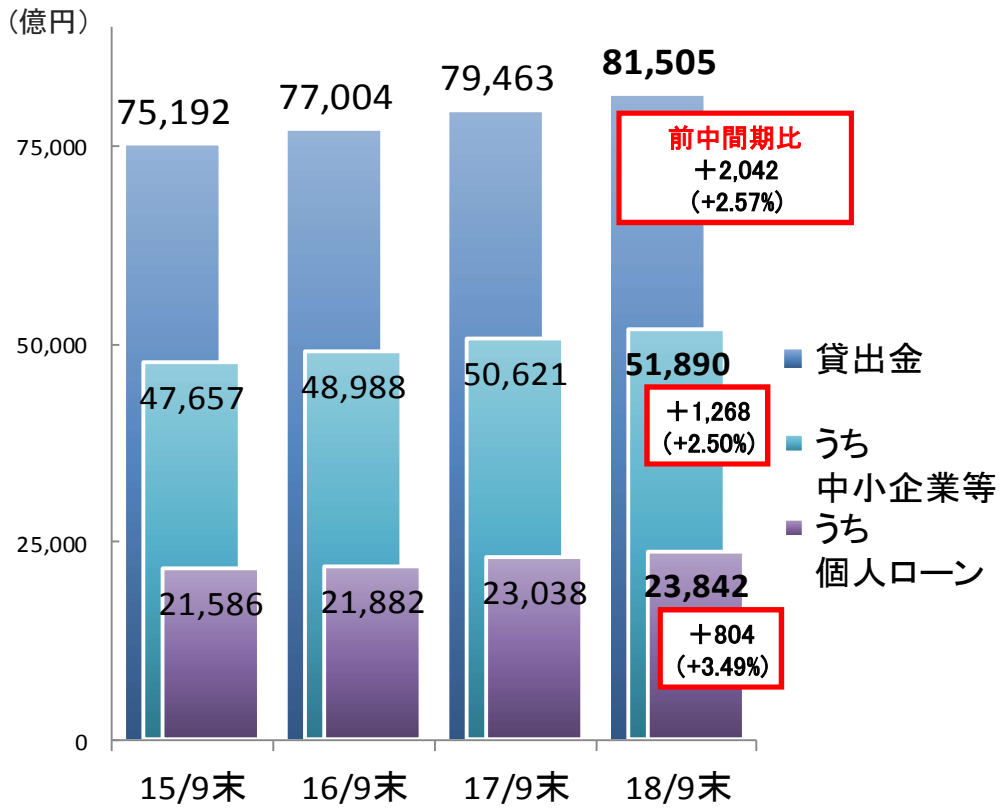
貸出金

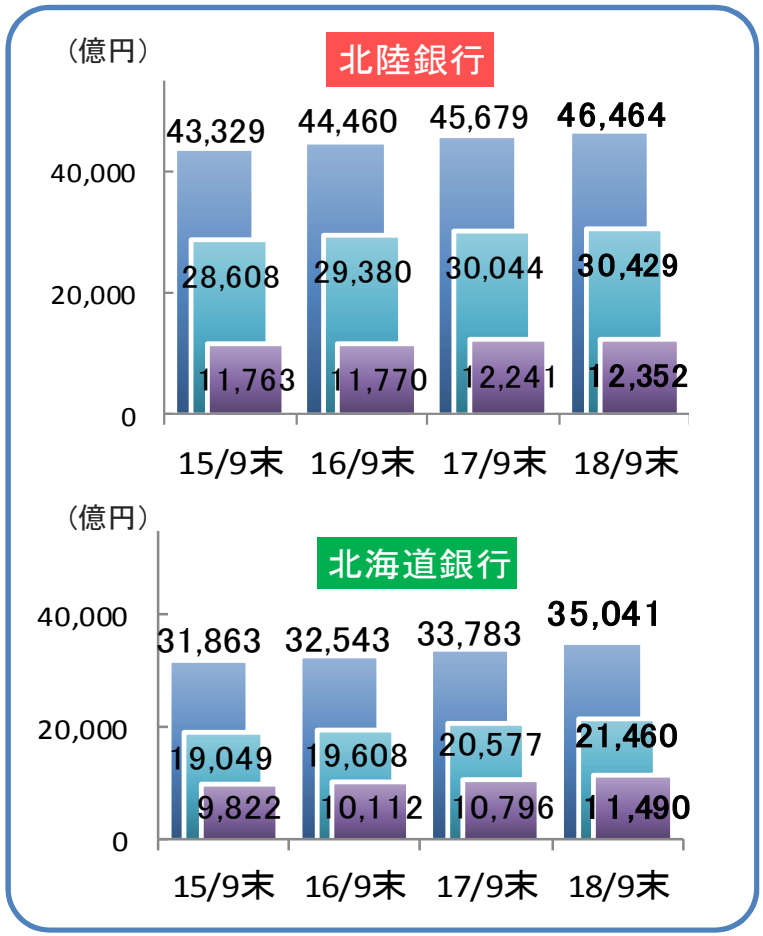
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

貸出金残高は、主に個人ローンの積上がりにより増加し、前中間期比2,042億円増加の8兆1,505億円となりました。

貸 出 金 残 高

2行合算



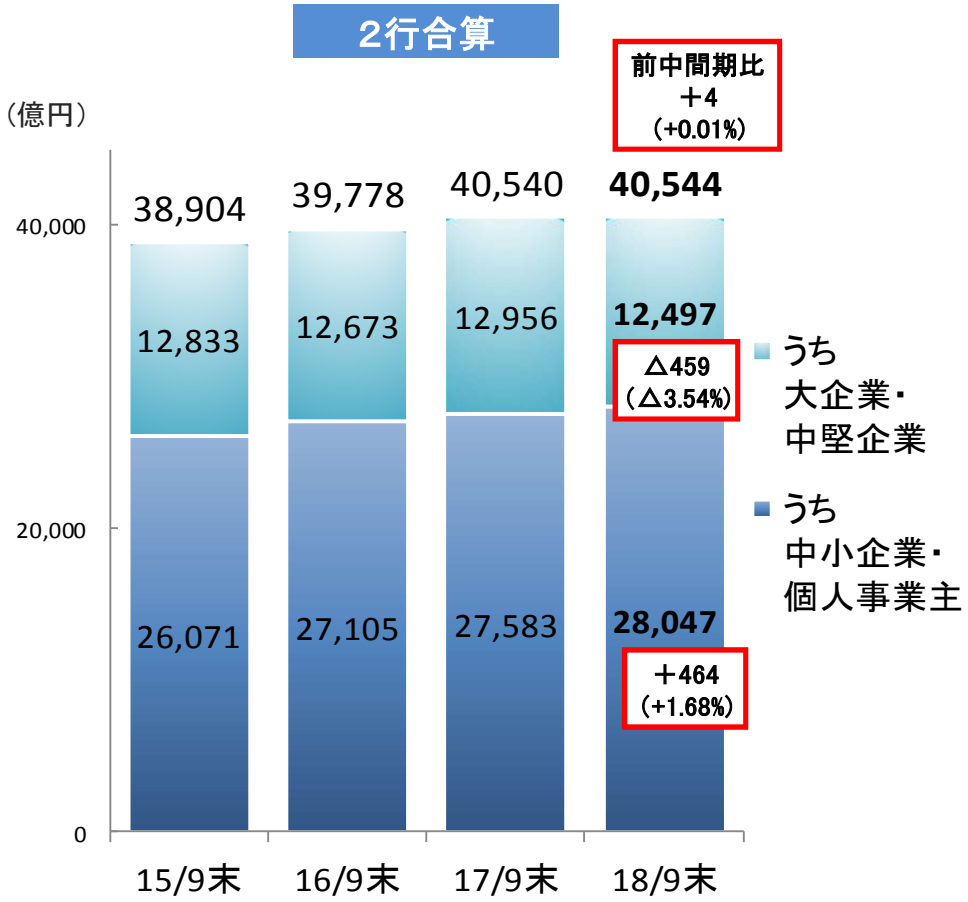


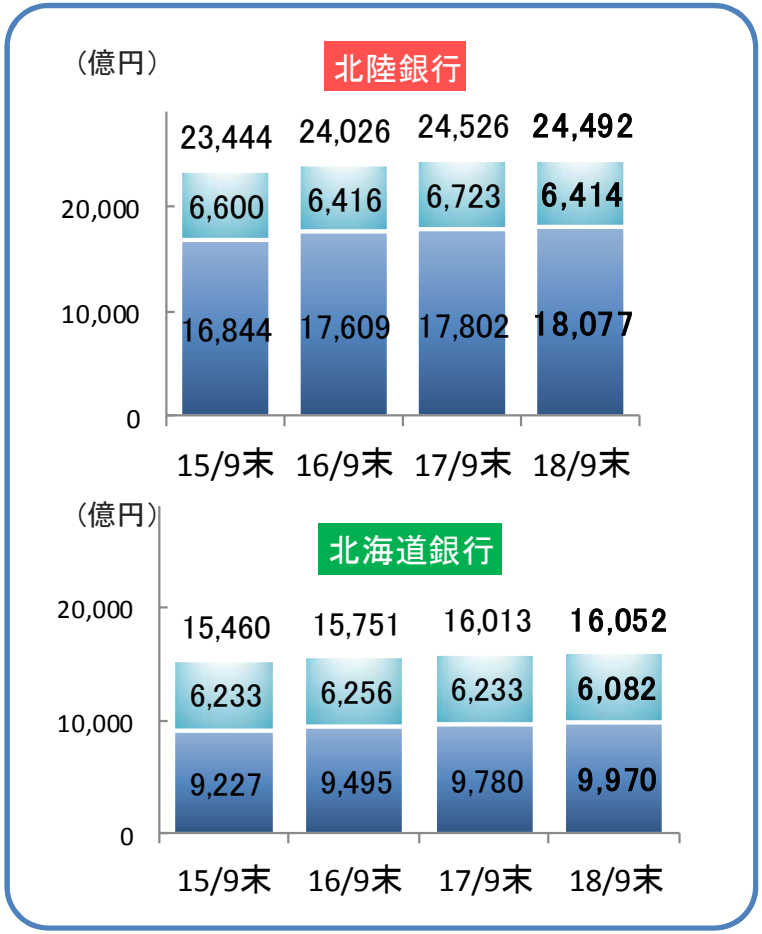
貸出金（事業性）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

事業性貸出は、引き続き地元企業との接点強化に注力したことにより、中小企業・個人事業主向け貸出が前中間期比464億円増加し、総体では4億円増加の4兆544億円となりました。

事業性貸出残高



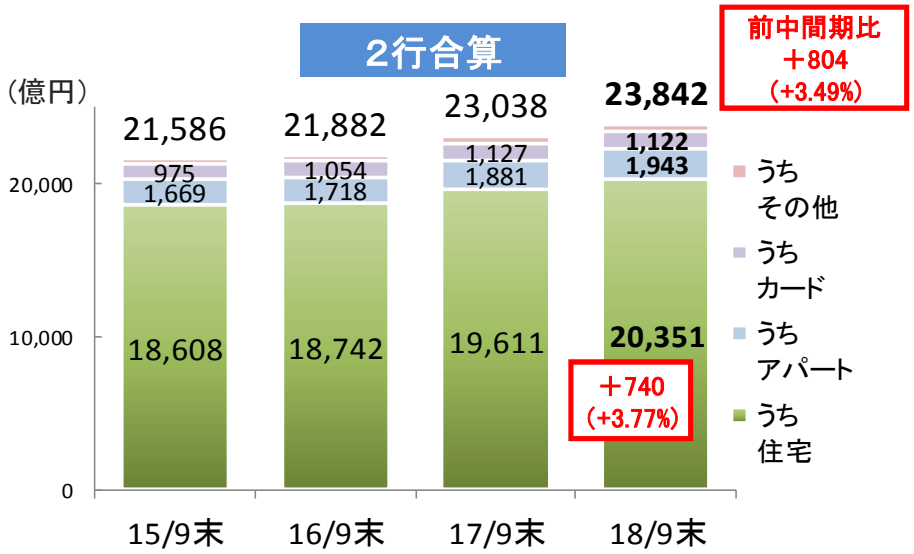


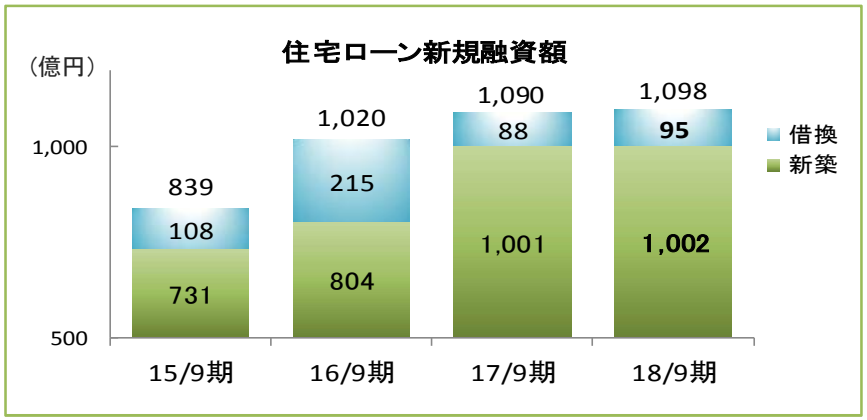
貸出金（個人ローン）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

個人ローンは、住宅ローンを中心に残高を伸ばし、前中間期比804億円増加の2兆3,842億円となりました。
住宅ローンは、中間期実績の過去最高額を更新する1,098億円の新規融資を実現しました。

個人ローン残高



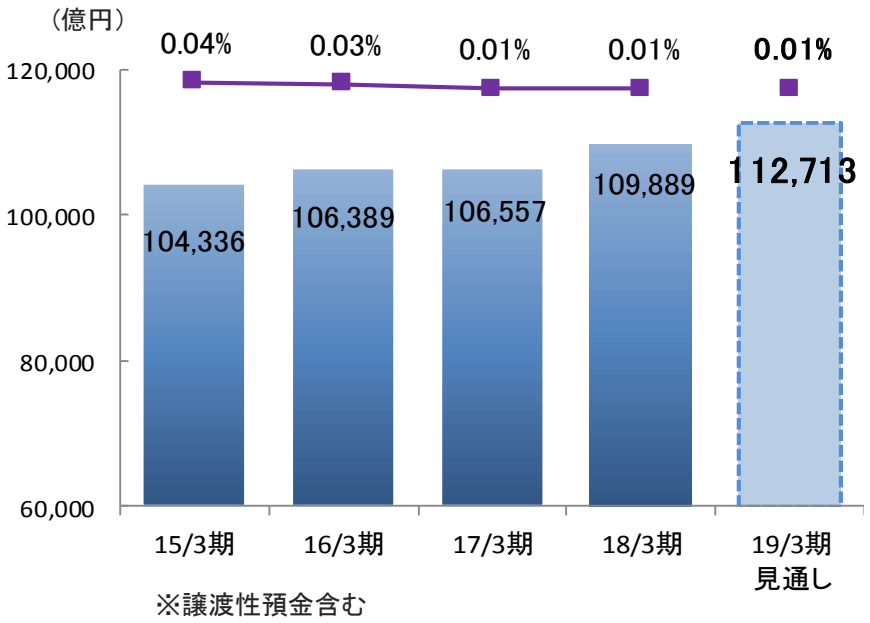




預金・貸出金見通し

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

預金　平均残高・利回り

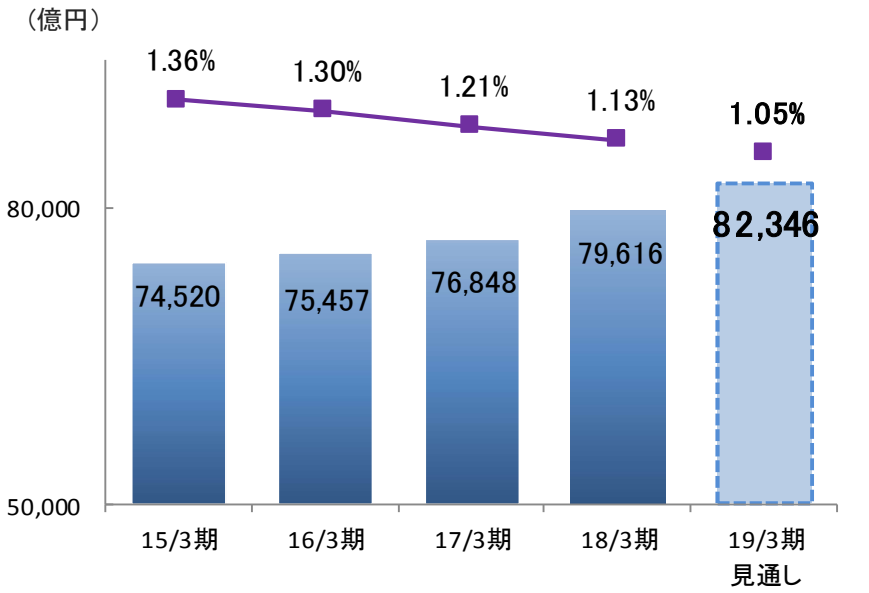


※譲渡性預金含む

（億円）

【2行合算】	18/3期 実績 (A)	18/9期 実績	19/3期 見通し (B)	増減額 (B−A)
平均残高	109,889	112,724	**112,713**	2,823
利回り	0.01%	0.01%	**0.01%**	△0.00%
支払利息	15	6	**13**	△ 2

貸出金　平均残高・利回り



（億円）

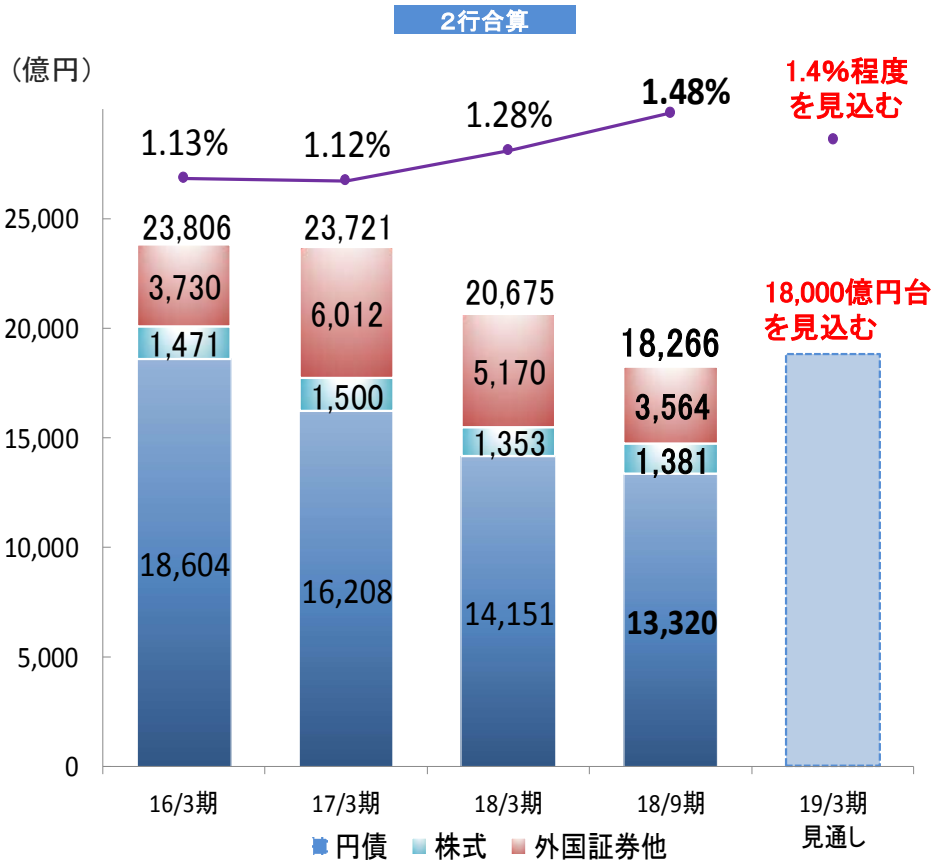
【2行合算】	18/3期 実績 (A)	18/9期 実績	19/3期 見通し (B)	増減額 (B−A)
平均残高	79,616	81,463	**82,346**	2,729
利回り	1.13%	1.06%	**1.05%**	△ 0.08%
受取利息	900	435	**870**	△ 29

有価証券

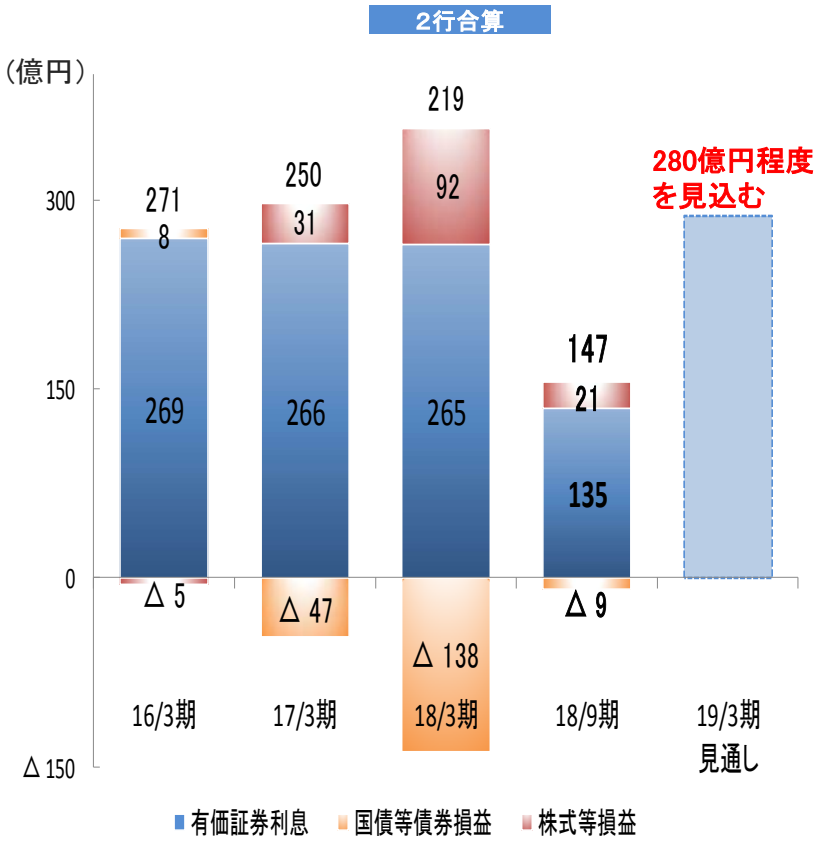
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

有価証券運用については、円債の大量償還を見据え、分散投資により運用効果を高める一方、米国の金利上昇など相場動向を踏まえた機動的な運用を実践しております。

有価証券　平均残高・利回り



有価証券関連収益



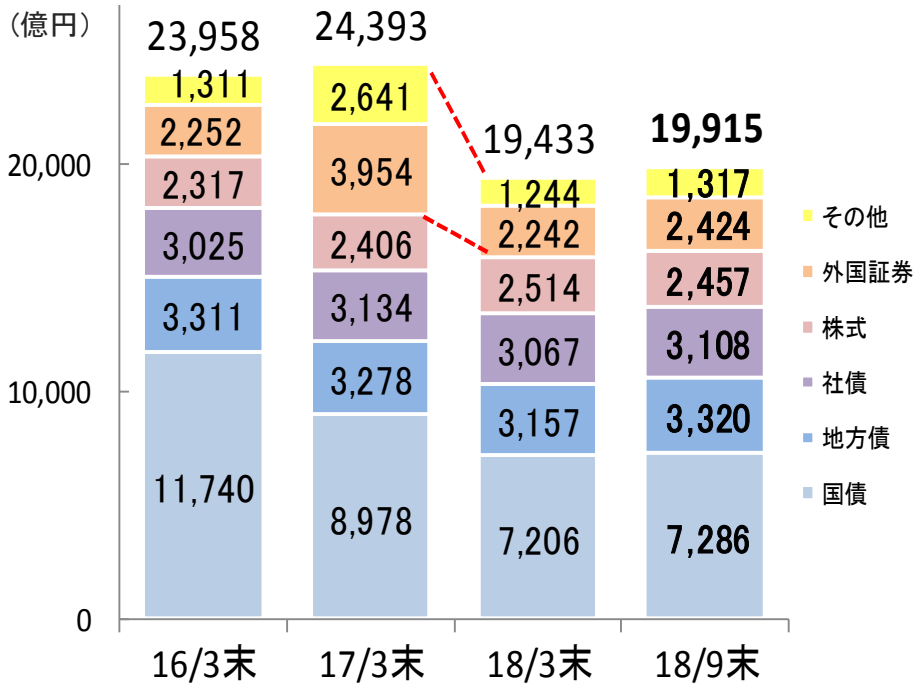
（株式等損益には退職給付信託設定益を含む）

有価証券（ポートフォリオ）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

米国金利の上昇を踏まえ、前期中に外国債券や外国債券を投資対象とする投資信託の残高を圧縮しており、ポートフォリオを再構築しております。その他有価証券の評価損益は1,322億円となっています。

有　価　証　券　残　高



円債デュレーション　（2行合算）

16/3末	17/3末	18/3末	18/9末
2.92年	3.14年	3.08年	**2.98年**

※ヘッジ考慮後

有価証券の売買損益と評価損益

（億円）

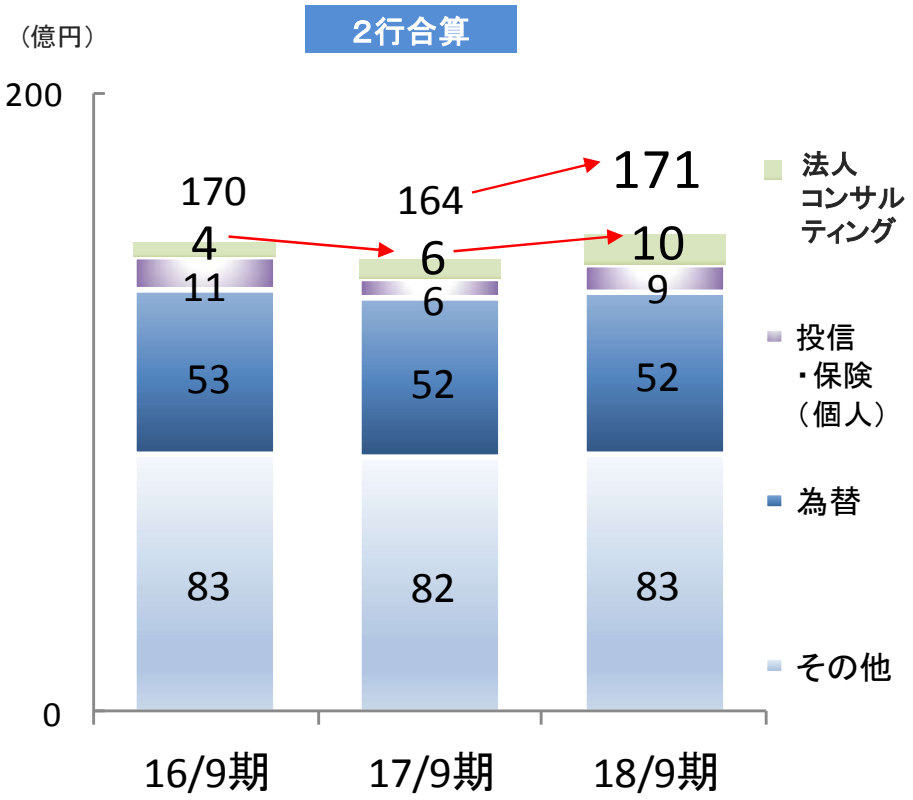
【2行合算】	18/9期	増減額	18/3期
有価証券利息	135		265
円債	47		100
株式	34		59
その他	53		105
有価証券の売買損益	11		△ 45
国債等債券損益	△ 9		△ 138
株式等損益（退職給付信託設定益を含む）	21		92
その他有価証券の評価損益	1,322	82	1,240
債券	151	△ 43	195
株式	1,156	92	1,064
その他	14	33	△ 19

役務取引等利益

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

保険手数料および法人コンサルティング手数料の増加により、役務取引等収益は前中間期比7億円増加。
役務取引等費用を含めた役務取引等利益も2億円増加の83億円になりました。

役 務 取 引 等 収 益



非 金 利 収 入

（億円）

【2行合算】	18/9期	増減額	17/9期
(1) 役務取引等利益	83	2	81
役務取引等収益	171	7	164
うち受入為替手数料	52	0	52
うち投資信託手数料	15	△ 0	15
うち保険（個人）手数料	9	2	6
うち法人コンサルティング（※）	10	3	6
うちその他手数料	83	1	82
役務取引等費用(△)	87	5	82
うち支払為替手数料(△)	9	△ 0	9
うちローン保険料・保証料(△)	59	4	54
(2) 特定取引利益	0	△ 0	0
(3) その他業務利益(除く5勘定尻)	4	4	△ 0
うち外為売買損益	4	4	△ 0
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	88	7	81
(5) コア業務粗利益	640	△ 9	650
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	13.78%	1.31%	12.47%

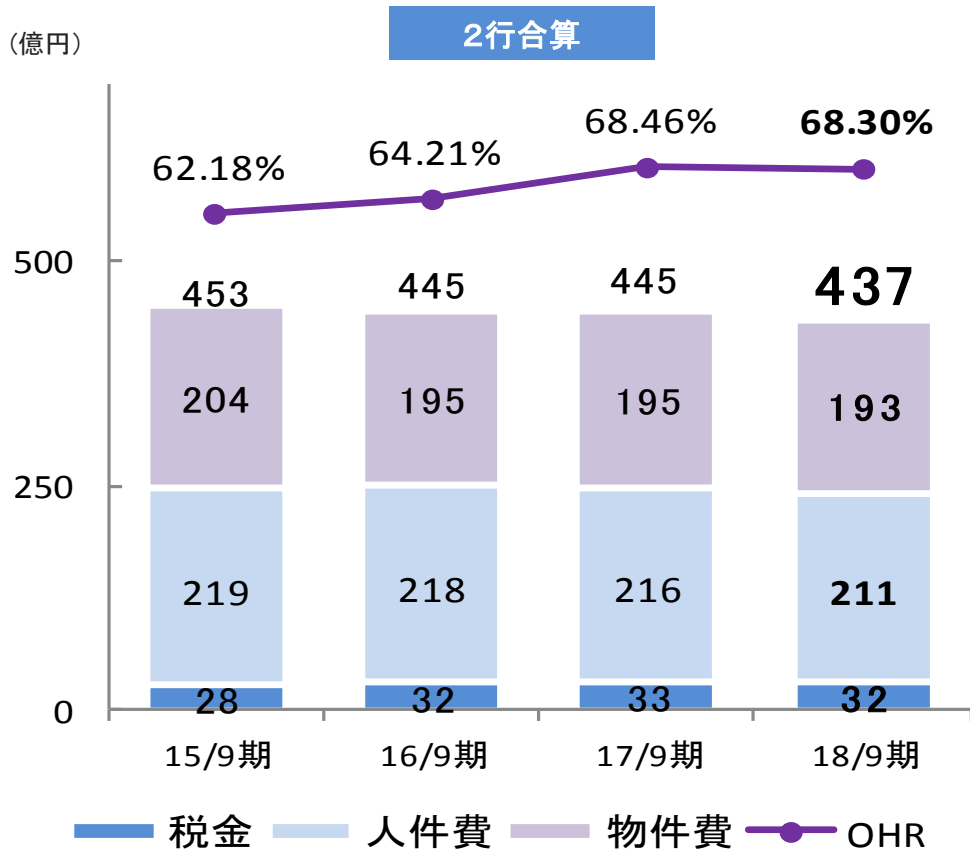
※法人コンサルティング…M&A、事業承継、ビジネスマッチング、法人保険など

経費

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

経費は、業務効率化への取り組みを通じて、人件費・物件費ともに削減し、前中間期比7億円減少の437億円となりました。

経 費 ・ O H R



OHR ＝ 経費 ÷ コア業務粗利益

増 減 要 因

（億円）

【2行合算】	18/9期	増減額	17/9期
人件費	211	△ 4	216
物件費	193	△ 2	195
税金	32	△ 0	33
経費	437	△ 7	445

従 業 員 数

（人）

【2行合算】	18/9末	増減額	17/9末
正社員	5,229	△ 69	5,298
スタッフ	2,786	△ 179	2,965

・正社員数は嘱託、パート、派遣社員を除く
・スタッフ数＝嘱託＋契約＋臨時＋派遣・直接雇用パート

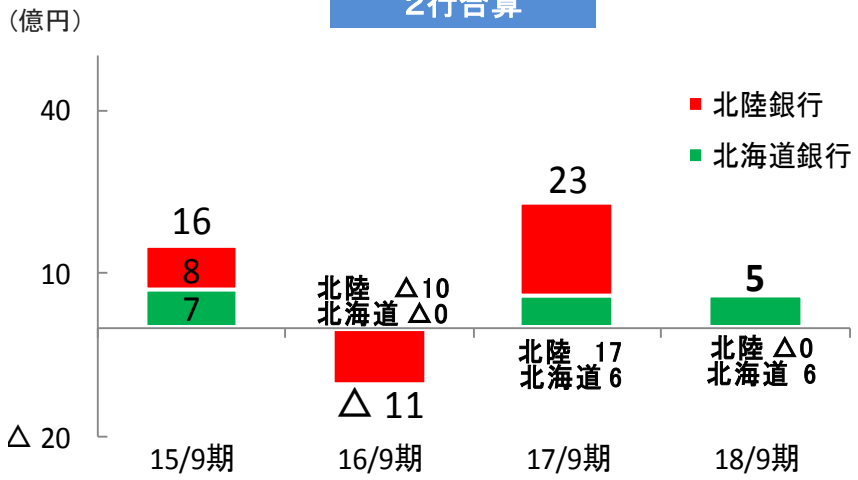
与信費用

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

与信費用は、依然として低水準であり、取引先の業況は安定的に推移しています。

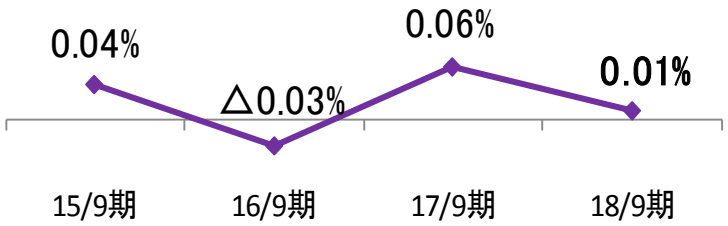
与 信 費 用

2行合算



与 信 費 用 比 率

2行合算



与信費用比率＝与信費用÷貸出金平残

与 信 費 用 要 因

（億円）

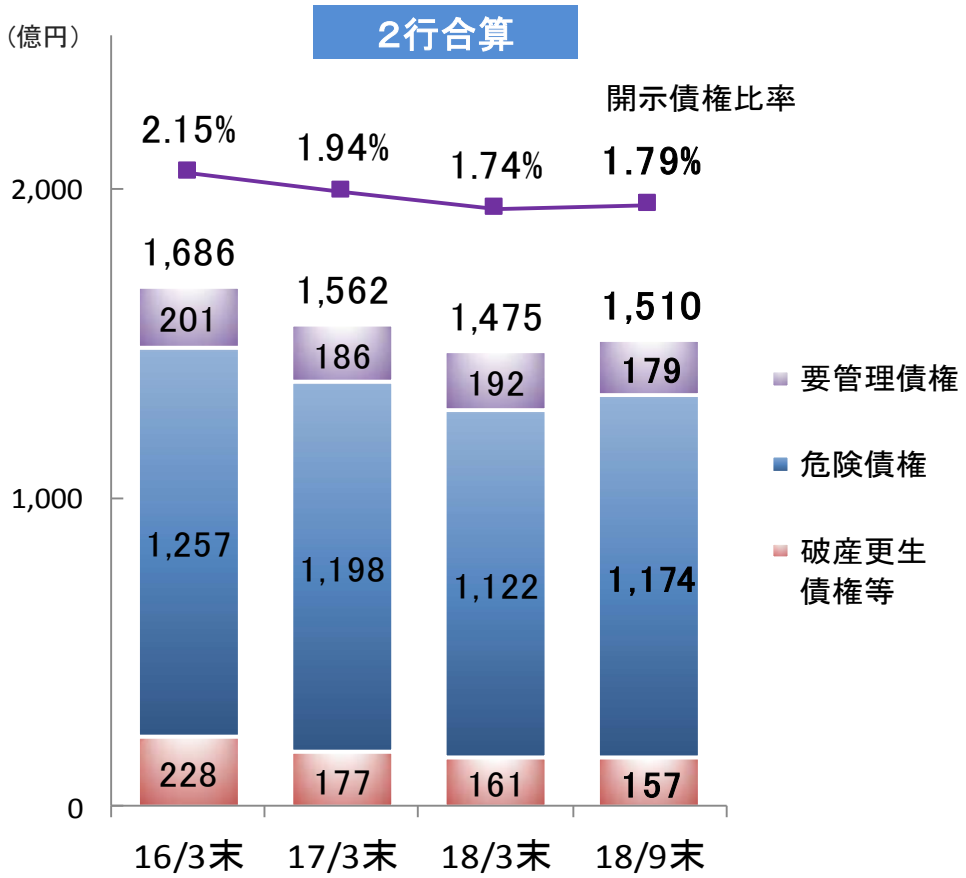
【2行合算】	18/9期	増減額	17/9期
与信費用	5	△ 18	23
一般貸倒引当金繰入	△ 0	△ 11	10
不良債権処理額	6	△ 7	13

金融再生法開示債権

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

金融再生法開示債権残高は、前期末比35億円増加の1,510億円、開示債権比率は1.79%となりました。

金 融 再 生 法 開 示 債 権



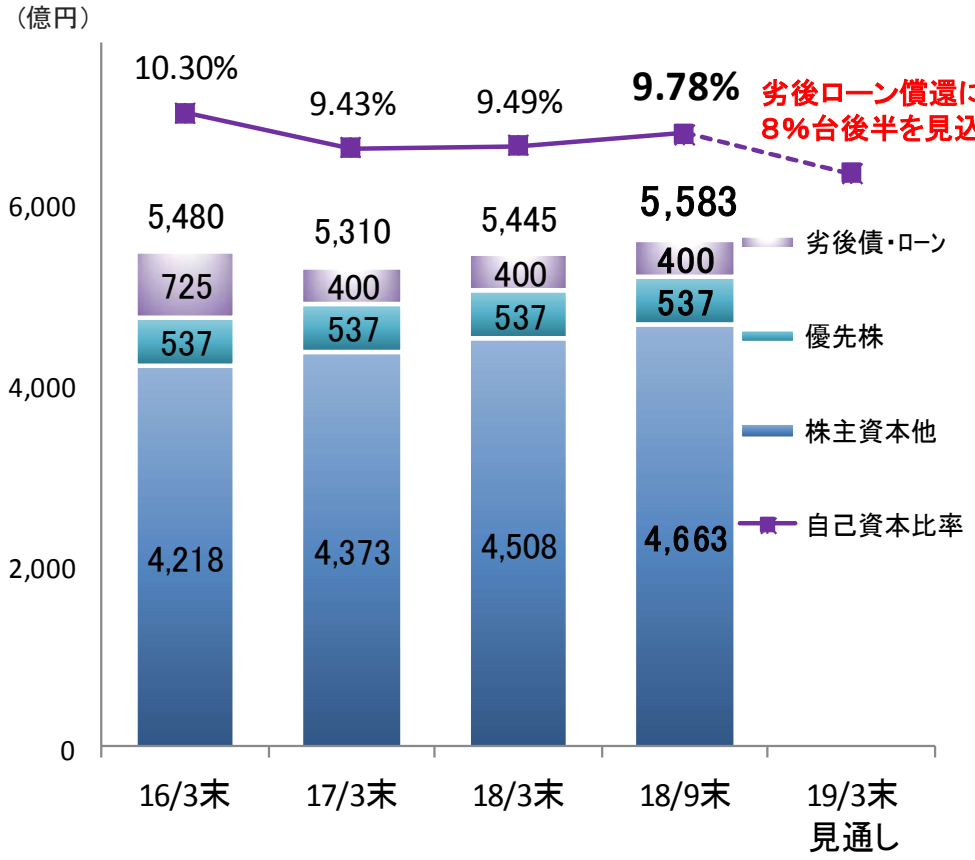


自己資本

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

自己資本比率は、利益剰余金の積み上げにより自己資本が増加したことにより、前期末比0.29ポイント上昇し9.78%となりました。

連結自己資本比率



自己資本・リスクアセット

〈バーゼルⅢ国内基準〉

（億円）

【FG連結】	経過措置適用			完全実施（試算）
	18/9末	増減額	18/3末	18/9末
自己資本	**5,583**	138	5,445	4,566
基礎項目	**5,773**	126	5,646	4,772
調整項目（△）	**189**	△ 11	201	205
リスクアセット	**57,074**	△ 278	57,352	56,929
自己資本比率	**9.78%**	0.29%	9.49%	8.02%

ROE

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	18/9
連結	4.0%	5.8%	5.5%	5.3%	5.1%	3.6%	**4.6%**
2行合算	4.8%	6.4%	5.9%	5.8%	5.7%	4.4%	**5.5%**

業績予想

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

2019年3月期　通期業績予想

＜FG連結＞

（億円）

	19/3期 業績予想	前年比
経常利益	330	12
親会社株主に帰属する当期純利益	210	△ 1

（億円）	【2行合算】 業績予想	【2行合算】 前年比	【北陸銀行単体】 業績予想	【北陸銀行単体】 前年比	【北海道銀行単体】 業績予想	【北海道銀行単体】 前年比
コア業務粗利益	1,280	△ 27	700	△ 12	580	△ 15
経費（△）	895	6	485	9	410	△ 3
コア業務純益	385	△ 34	215	△ 22	170	△ 12
与信費用（△）	50	44	30	11	20	32
経常利益	340	8	200	△ 41	140	50
当期純利益	230	△ 10	130	△ 27	100	17

2019年3月期　配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	44円00銭	44円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

（円）

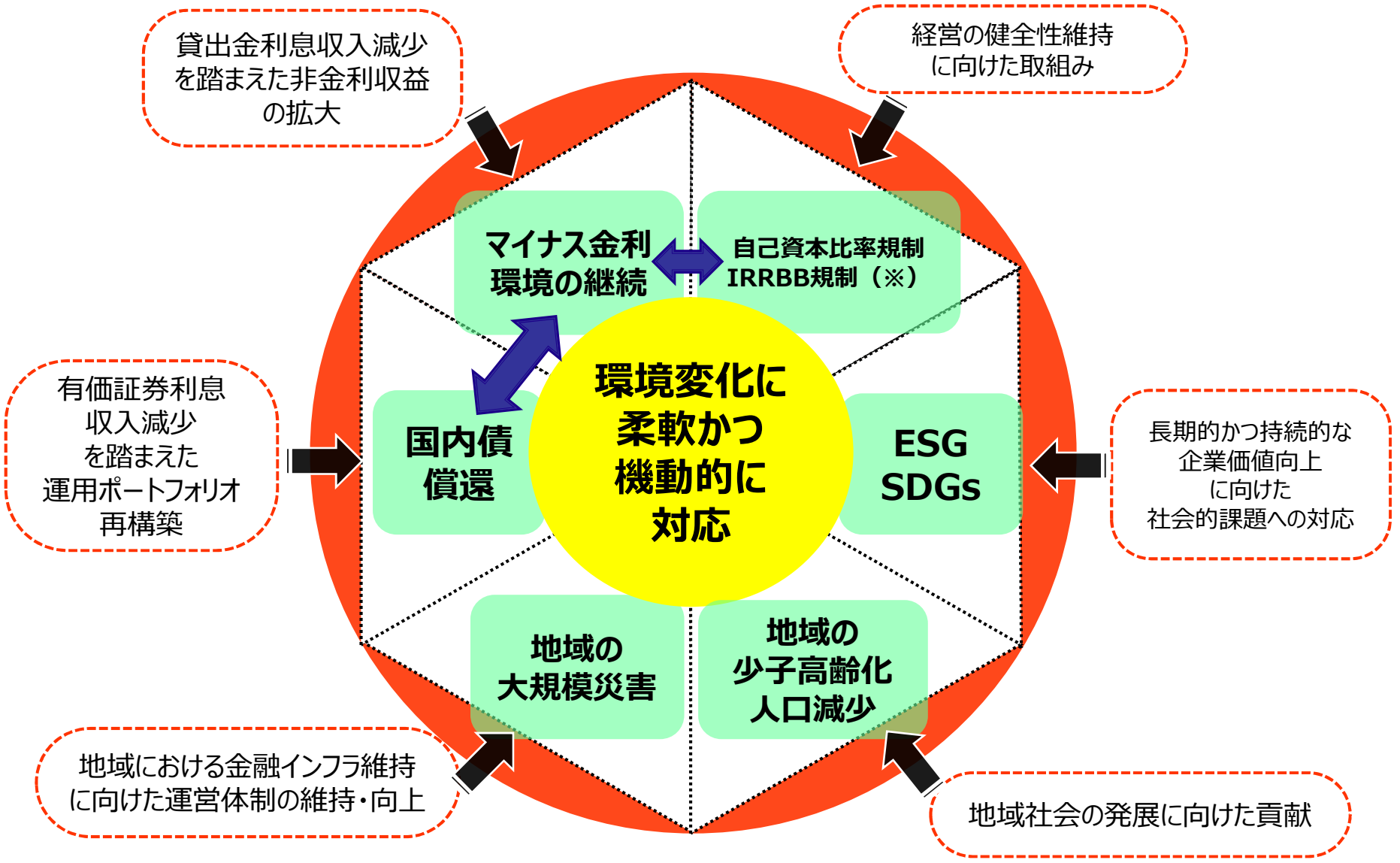
11/3～13/3期	14/3期	15/3～16/3期	17/3～18/3期	19/3期予想
37.50	40.00	42.50	44.00	44.00

- 2016年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。（上記の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」としています。）

Ⅱ. 経 営 戦 略

外部環境・金融規制環境の変化

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group



（※）IRRBB規制・・・国内基準行は2018/3末基準より試行開始、2019/3末基準から正式導入される、銀行勘定の金利リスクにかかる規制。

中期経営計画（BEST for the Region）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

2018年度は第3次中期経営計画の締めくくりの年度であり、基本戦略で掲げた3つのコンセプトの総仕上げを着実に実践します。

基本戦略

地域No.１サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を担い、地域とともに成長・発展する金融グループを目指す

◆営業力の強化

～お客様の期待を上回る提案力・サービス力

・コンサルティング営業の強化、人財育成

・商品・サービスの拡充

◆経営の効率化

～競争を勝ち抜く機能的な組織

・BPRへの取り組み

・営業拠点の見直し

◆経営基盤の強靭化

～地域から信頼される安定した財務基盤

・有価証券運用の多様化

・ガバナンス、リスク管理の向上

過年度の主な取組み

◆営業力の強化

・ほくほくTT証券開業
～富山・金沢・福井
札幌・旭川の5拠点体制へ

・住宅ローン強化
・M＆A、事業承継の強化
・事業性評価の取り組み

◆経営の効率化

・BPR、働き方改革
・ペーパレス化促進
・タブレット端末活用
・営業拠点の整備

◆経営基盤の強靭化

・劣後ローン償還
・株式併合
・監査等委員会設置
・有価証券運用多様化

2018年度の取組み

◆営業力の強化

・コンサルティング営業の強化
・商品・サービスの拡充
・ほくほくTT証券との連携
・戦略的人員配置
・人財育成（コンサルティング能力、事業性評価）

◆経営の効率化

・BPRの実践による経営資源の再配分
・重点分野、戦略拠点への再配置
・業務のRPA化

◆経営基盤の強靭化

・リスクアセットの適切なコントロール
・AML管理態勢の整備
・コーポレート・ガバナンス委員会の活用

次期中期経営計画へ

中期経営計画（BEST for the Region）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

各計数目標についての進捗状況は以下の通りです。

中期経営計画 "BEST for the Region"（2016年4月～2019年3月）

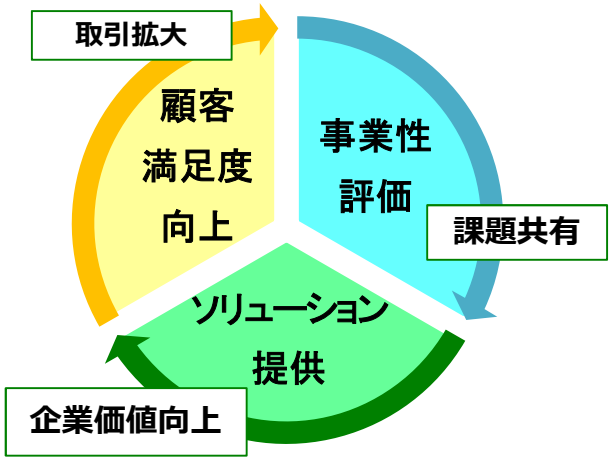
	17年3月期 実績	18年3月期 実績	19年3月期 中間実績	19年3月期 計画	19年3月期 見通し
預金平均残高 （除く譲渡性預金）	10兆4,096億円	10兆7,687億円	**11兆2,724億円**	10兆5,600億円	**11兆2,713億円**
貸出金平均残高	7兆6,848億円	7兆9,616億円	**8兆1,463億円**	7兆7,600億円	**8兆2,346億円**
コア業務粗利益	1,338億円	1,307億円	**640億円**	1,345億円	**1,280億円**
経　費	898億円	888億円	**437億円**	930億円	**895億円**
コア業務純益	439億円	419億円	**203億円**	415億円	**385億円**
信用コスト	△6億円	5億円	**5億円**	60億円	**50億円**
親会社株主に帰属する 当期純利益	281億円	211億円	**139億円**	230億円	**210億円**
連結自己資本比率	9.43%	9.49%	**9.78%**	9.55%	**8%台後半**
OHR （コア業務粗利ベース）	67.13%	67.89%	**68.30%**	69.14%	**69.92%**

営業力の強化（コンサルティング営業）

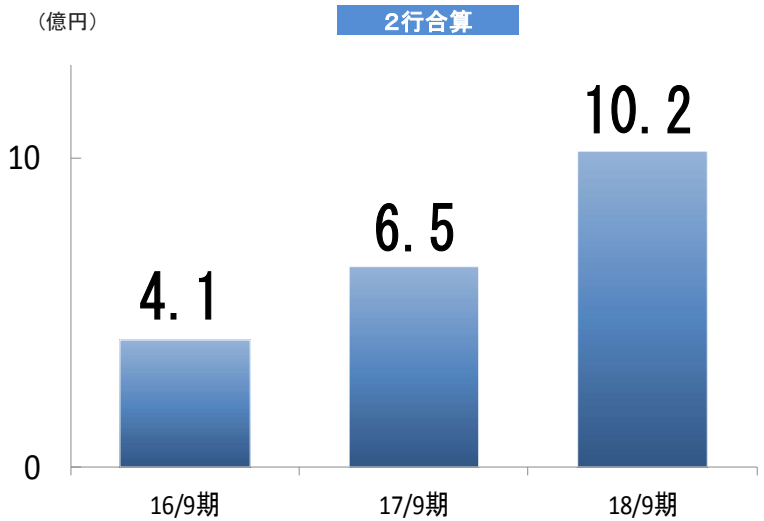
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- ◆ ソリューション提供による企業価値の向上
  →ビジネスマッチング（販路拡大・人材等）、後継者育成などのサポート
- ◆ M&A、事業承継などのコンサルティング営業の強化
  →コンサルティング営業部新設（2018.7　北陸銀行）
- ◆ 事業性評価を活用した取引の拡大
  →事業性評価の推進、目利き力の向上

⇨ **金融仲介機能の強化による収益力向上**



法人コンサルティング手数料



※法人コンサルティング手数料…コンサル（M&A、事業承継など）、ビジネスマッチング、法人保険

中小企業向け貸出平均残高



※計数は部分直接償却前の内部管理ベース

営業力の強化（住宅ローン）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

◆ **幅広いお客様さまニーズに対応する商品性の向上**

→分割実行型住宅ローン取扱い開始（2018/8～　北陸銀行）

◆ **お客さまニーズに応える休日ご相談拠点**

→ローンプラザにおける休日営業、休日ローン相談会

⇨ **良質な住宅ローン資産の積み上げ**

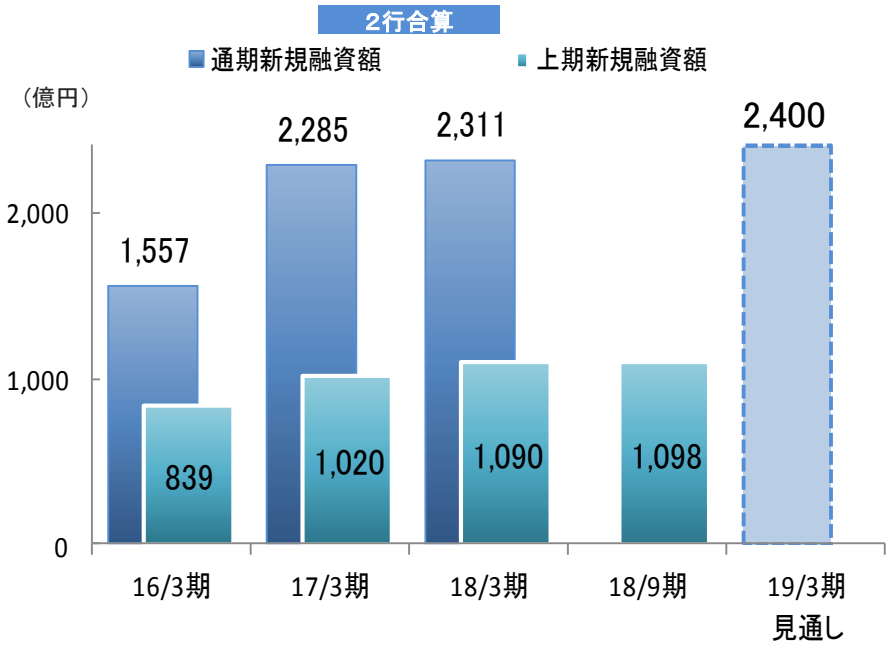


住宅ローンプラザ

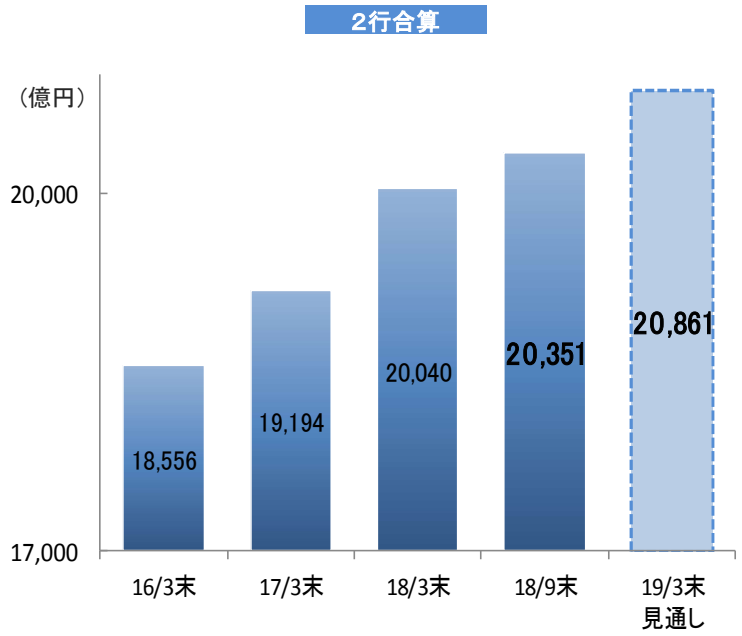
北陸銀行	ほくぎんローンプラザ49カ店 （うち21カ店で休日営業）
北海道銀行	道銀住宅ローンプラザ12カ店 （うち2カ店で休日営業）



住宅ローン　新規融資額



住宅ローン　残高



営業力の強化（預かり資産）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

◆ **ほくほくTT証券との連携**

→ほくほくTT証券との連携による預かり資産残高の積み上げ

◆ **資産運用相談担当者の戦略的配置**

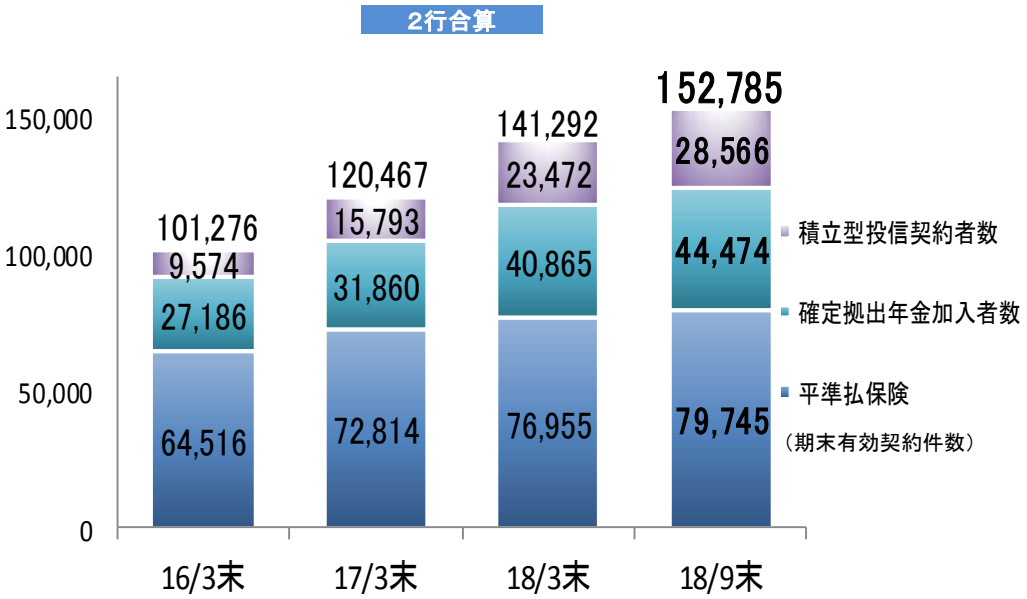
→プライベートバンキングセンター（北海道銀行）、ウェルスマネジメントセンター（北陸銀行）などの戦略拠点に預かり資産運用相談担当者を集約

◆ **積立型商品の推進**

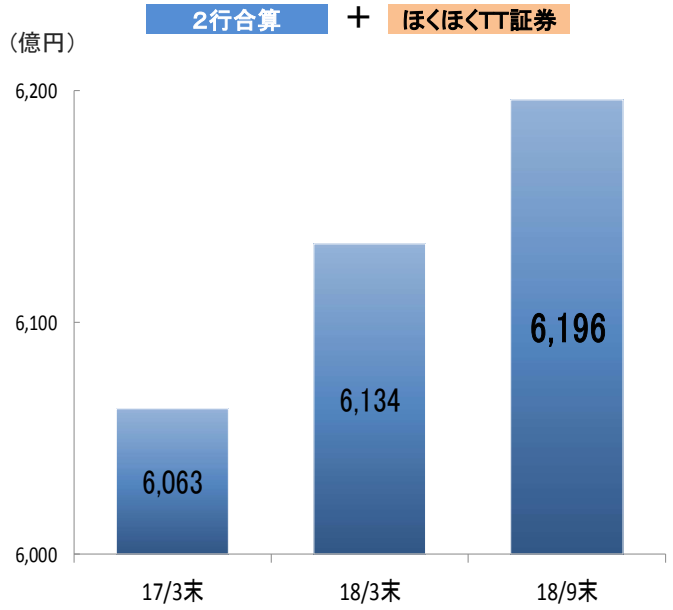
→お客様の資産形成に資する最適なご提案の実践



積立型商品（個人）契約者数



個人向け投資型金融商品残高



営業力の強化（人財育成）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

◆ **コンサルティング能力の向上**

→お客さまへの最適な提案に資する知識の習得、資格取得促進、
行外派遣研修による外部ノウハウの吸収

◆ **事業性評価・目利き力の向上**

→お取引先経営者との課題共有、深度あるディスカッションから
最適なソリューションの提供まで実践可能な人財の増強

◆ **ダイバーシティの推進**

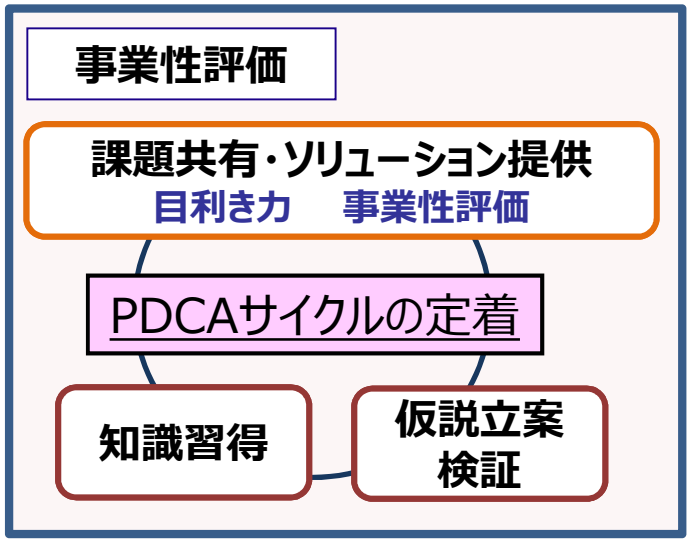
→女性の役席への積極登用、ワークライフバランスの推進



資格取得者数

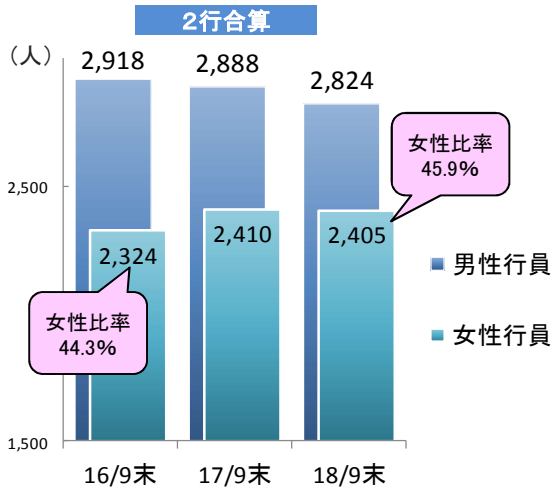
2行合算

	18/9末
中小企業診断士	22人
農業経営アドバイザー	82人
医業経営コンサルタント	4人
医療経営士	39人
M&Aシニアエキスパート	67人
1級FP技能士	145人
2級FP技能士	2,198人
CFP	25人
AFP	137人



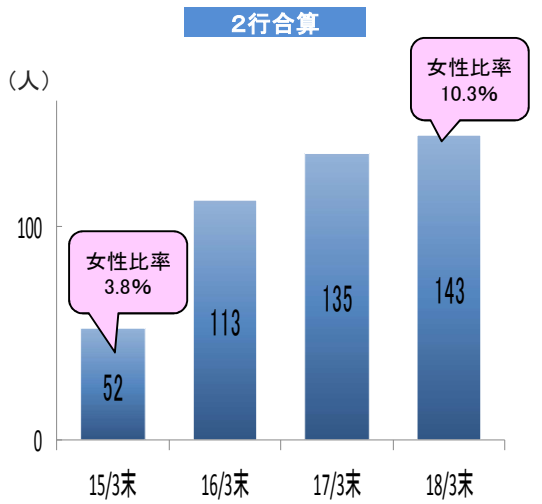
行員数

2行合算



女性経営職・管理職数

2行合算

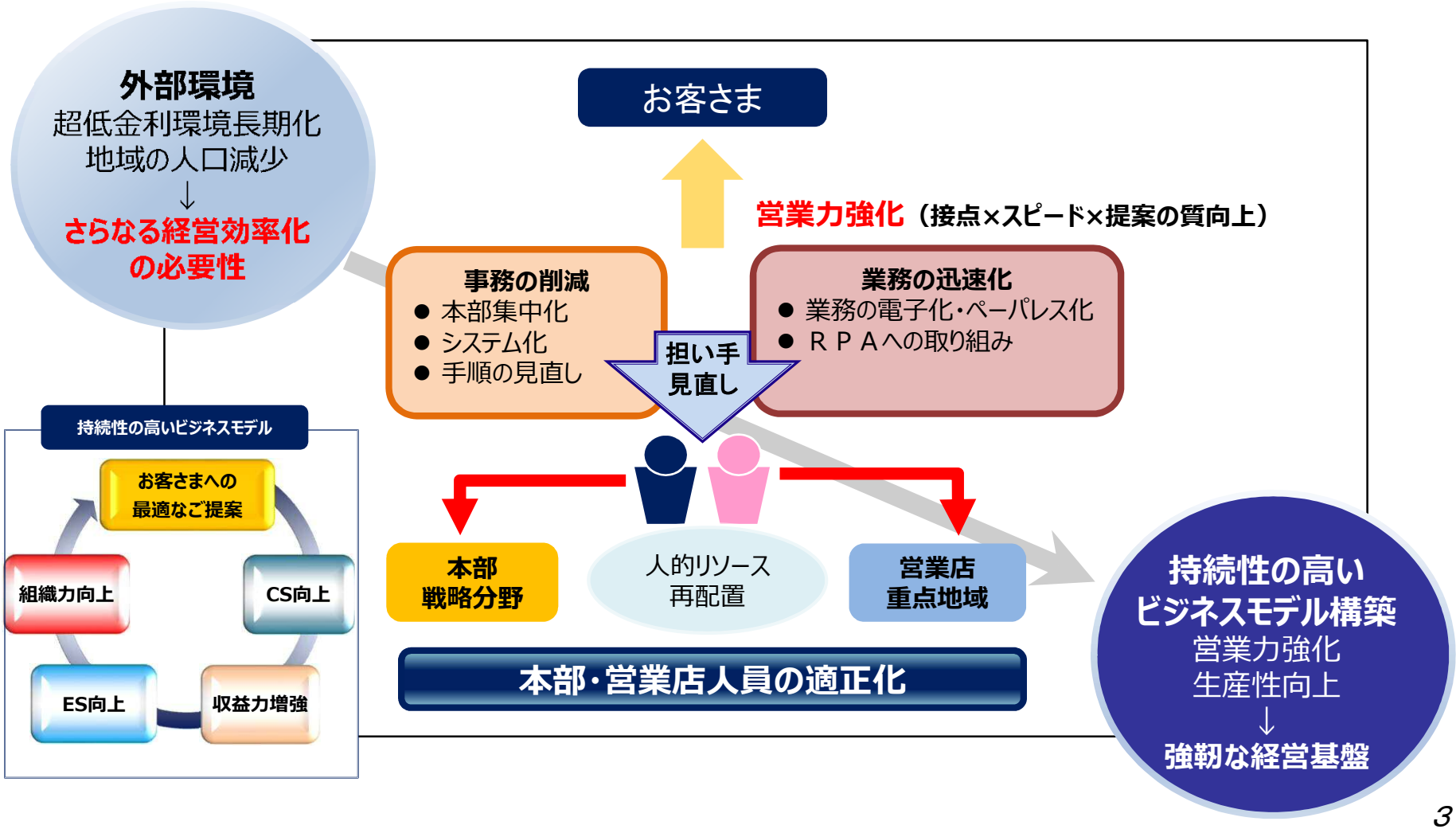


経営の効率化（ＢＰＲ）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

◆ BPRの実践による経営資源の再配分

→持続的なビジネスモデルの構築に向けた組織改革
→営業力強化、生産性向上に繋がるBPRの実践



経営の効率化（BPR）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

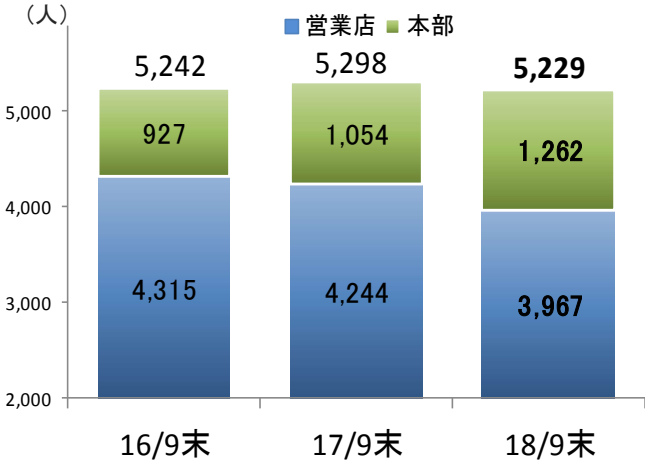
◆ 重点分野・戦略拠点への再配置

戦略分野	**「コンサルティング営業部」新設**（2018/7　北陸銀行） ・「事業承継」「事業成長」「金融サポート」「地域コンサル」の4チーム ・新設時37名→62名に増員（2020/3末） **「マーケティング企画室」新設**（2018/7　北海道銀行） ・マーケティング、FinTech 関連業務の企画立案推進を集約
戦略拠点	**「プライベートバンキングセンター」拡大**（2018/5　北海道銀行） ・資産運用相談専担者集約拠点を札幌圏内にて拡大。今後、他地区への展開を検討。 **「ウェルスマネジメントセンター」新設**（2018/6　北陸銀行） ・資産運用相談専担者集約拠点を富山県内に新設。今後他地区への展開を検討
その他	**営業店　窓口営業時間変更** ・北海道銀行は、より少人数での店舗運営を可能とするため、道内店舗のうち17ヵ店（2018/11現在）について、9:00～15:00の窓口営業時間のうち12:30～13:30を休業といたしました。効率化によって道内金融インフラの維持を目指していく方針です。 ・北陸銀行についても、9ヵ店に同様の対応を導入済（2018/11現在）

営業店・本部人員数

本部増員（2016/9対比）

フロント部署	＋198名
営業店事務サポート部署	＋73名
計	**＋271名**



◆ 業務のRPA化

・各種帳票の作成や、データ検索業務など17項目のPPA化を完了（北陸銀行）。
・総体での削減効果は28,491時間。（年間業務時間ベース）
・北海道銀行においても、同一ツールを導入予定（2018/11）。対象業務として711件を抽出。2018年度中に試行を開始

経営基盤の強靭化（リスク管理・ガバナンス）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

◆ **リスクアセットの適切なコントロール**
→貸出金・有価証券のアセットコントロールにより過度なリスクテイクを抑制

◆ **AML管理態勢の整備**
→グループベースでの管理強化に向けた態勢の整備

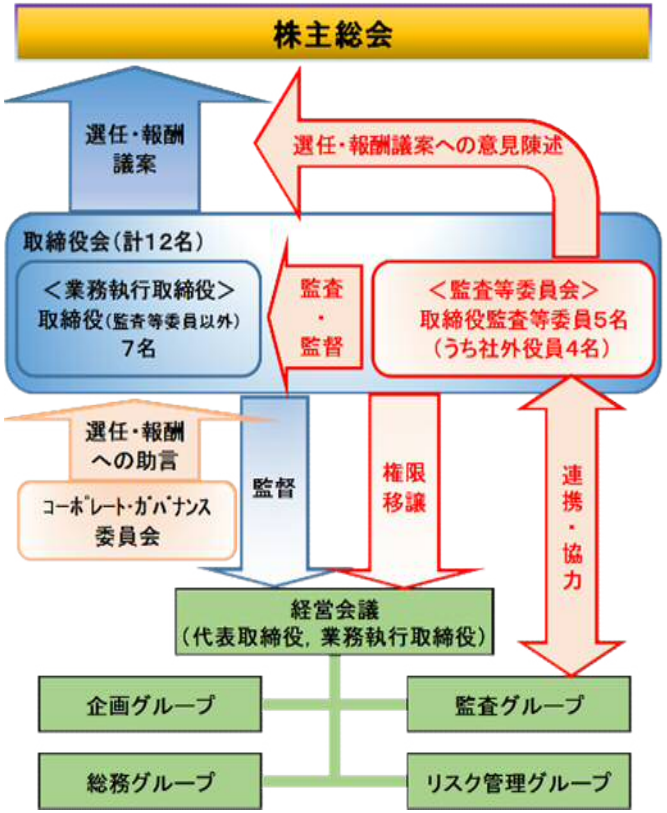
◆ **コーポレート・ガバナンス委員会の活用**
→社外役員の客観的な視点・意見を積極的に企業経営に活用

「平成30年北海道胆振東部地震」への対応

2018年9月6日未明、北海道胆振東部を震源とする最大震度7の地震が発生し、震源周辺地域を中心として揺れによる大きな被害を受けました。加えて、発生直後には道内全域に及ぶ停電（いわゆる「ブラックアウト」）が発生し、北海道全域に2次的な被害・影響が発生しました。

地震当日の対応	• 北海道銀行・北陸銀行ともＢＣＰ（事業継続計画）として策定している「災害対策マニュアル」に基づき「災害対策本部」を設置。 • 当日9：00時点では両行の道内全店が停電対象地域にありましたが、非常用発電機設置店（北海道26店舗、北陸11店舗）を中心に営業を開始。 • システムは安定稼働し、通電していない店舗の事務処理は本部代行するなどし、営業を継続することができました。
被災地・被災者への対応	• 相談窓口の設置、被災者対応融資(ローン)商品取扱 • ほくほくフィナンシャルグループとして総額50百万円の寄付を実施
今後について	• 長期間に亘る停電という被災経験を踏まえ、ＢＣＰ（事業継続計画）を両行ともブラッシュアップしていく

コーポレート・ガバナンス体制



＜2017年6月に監査等委員会設置会社に移行＞
・社外取締役を増員（2名→4名）
・2018/9現在、取締役12名中4名が社外役員に

ＥＳＧへの取り組み（社会・環境への取り組み）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

◆ **社会・環境に配慮した企業活動への金融サポート**
→エコ私募債、CSR私募債、環境評価融資、エコリフォームローンなどの優遇商品取り扱い

◆ **ペーパーレス化の促進**
→持株会社および両子銀行の会議・稟議書の電子化、ペーパレス化を徹底
→書類の電子保管、満期案内等の郵送物廃止、投資信託申込書類等のペーパレス化の実施

◆ **地域の自治体との情報連携**
→環境未来都市や、SDGs未来都市認定を目指す地方公共団体との情報連携

◆ **地域活性化に向けた取り組み**
→地域の自治体・お取引先と連携し、地域活性化に向けた各種の取り組みを実施



地域活性化に向けた取組み

＜「ＴＧＣ　ＴＯＹＡＭＡ　２０１８」の開催に協力＞

北陸銀行は、2018年7月、国内最大級のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション（TGC）」の富山開催に協力企業として参加しました。「富山をもっと元気に！」という思いのもとに、北陸初開催に向け誘致を働きかけ、地域経済の活性化や女性が輝く社会の推進に向けて積極的に協力しました。
若い女性を中心に約6,850人が来場して会場は大歓声に包まれ、関連イベントの花火大会やグルメフェスタにも約46,850人が来場、大いに盛り上がりました。



©プレステージ・インターナショナル presents TGC TOYAMA 2018 by TOKYO GIRLS COLLECTION

地域活性化に向けた取組み

＜道銀経営塾等の開講＞

（受講者：延べ984名）

北海道銀行は、お取引先の経営人材育成をサポートするため、2017年度までに「経営塾」を19期、「経営塾・幹部育成コース」を8期継続開催しています。



さらに、農業経営者をサポートする「農業経営塾」を7期、これから創業を目指す経営者候補および創業５年以内の経営者を対象とする「道銀創業支援塾」を5期継続開催しております。

本件に係る照会先

株式会社　ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：寺田・大谷）
TEL：076-423-7331
FAX：076-423-9545
E-MAIL：info@hokuhoku-fg.co.jp
http://www.hokuhoku-fg.co.jp/

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。